

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺市文化振興財団事業補助				シート番号	008-035
担当部署名	文化観光	局	文化	部	文化	課 評価責任者(課長名)
						辻尾

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	文化芸術活動の振興	無
	2	事業開始年度	平成 6 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	文化芸術基本法、自由都市堺文化芸術まちづくり条例			
	4	関連計画	自由都市堺文化芸術推進計画			
5	事業実施の経緯	堺市文化振興財団は、平成6年4月1日に文化創造の推進母体として設立され、市の政策方針のもと、市民への文化芸術鑑賞機会の提供、市民文化活動の活性化、新進芸術家の発掘育成、子どもの芸術体験の場の創出等の事業を展開してきた。堺市マスタープランの中で、重点的に取り組むプロジェクトのひとつとして「歴史文化のまち堺・魅力創造への挑戦!」を掲げており、新しい文化創造の促進など文化芸術機能を強化するための事業を実施していくとしている。今後、市の文化政策実現に向けて財団の果たす役割が益々重要になってきたところである。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input checked="" type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	・市民 ・市外の文化芸術等に興味のある方			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	市民が身近に文化芸術に触れることのできる環境が創出され、生活に潤いや心の豊かさを感じ、子どもの感性が磨かれるとともに、個性豊かな文化的魅力に満ち、内外の人々が賑わうまちにする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	(公財)堺市文化振興財団が実施する以下の目的をもった事業に対する補助 ・将来の文化の担い手や鑑賞者を育成するための子どもたちへの文化芸術の普及事業 ・次代を担う新進芸術家の育成、支援事業 ・市民自らが舞台に立つことなどでより深い感動を味わえる市民参加事業 ・堺独自の歴史・文化資源を活用することで、内外の人々が堺に魅力と愛着が感じられる事業 具体的には、舞台芸術公演(オーケストラ、ジャズ、能・狂言、落語、演劇、邦楽等)や 美術系イベントの実施、イベント情報紙やホームページによる文化芸術の情報発信などである。			
	10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
	10	直接実施以外の主な支出先	公益財団法人 堺市文化振興財団			

Ⅲ. 投入量

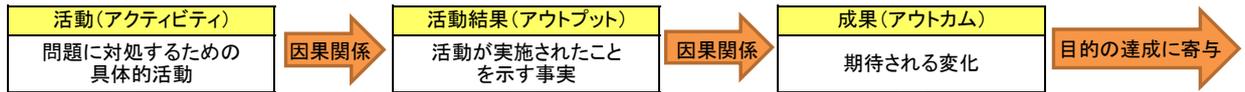
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	185,789	170,638	164,651	153,341	148,192	133,523	134,310	
	主な事業費内訳	補助金	千円	185,789	170,638	164,651	153,341	148,192	133,523	134,310
			千円							
			千円							
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
市債		千円								
	その他()	千円								
	一般財源	千円	185,789	170,638	164,651	153,341	148,192	133,523	134,310	
12	人件費 (b)	千円	820	820	820	820	810	810	1,476	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	186,609	171,458	165,471	154,161	149,002	134,333	135,786	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	堺市文化振興財団事業補助	シート番号	008-035
-------	--------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



<p>[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載</p> <p>[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載</p>	<p>【達成率に基づいた評価基準】</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th>評価</th> <th>達成率</th> </tr> <tr> <td>大変良い</td> <td>120%以上</td> </tr> <tr> <td>良い</td> <td>100%以上120%未満</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>80%以上100%未満</td> </tr> <tr> <td>少し悪い</td> <td>60%以上80%未満</td> </tr> <tr> <td>悪い</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	評価	達成率	大変良い	120%以上	良い	100%以上120%未満	普通	80%以上100%未満	少し悪い	60%以上80%未満	悪い	60%未満
評価	達成率												
大変良い	120%以上												
良い	100%以上120%未満												
普通	80%以上100%未満												
少し悪い	60%以上80%未満												
悪い	60%未満												

事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	(公財)堺市文化振興財団が行う文化芸術事業や事務局運営等に要する経費の一部を補助した。 令和元年度の補助対象事業は以下のとおり。 ・公益財団法人堺市文化振興財団の事務局運営 ・文化芸術振興事業費 ・各種自主ホール公演(13本) ・社会包摂型アウトリーチ(22本) ・広報誌、チケットシステム、会員制度 ・事業管理、総務管理						
	指標名【成果指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	(公財)堺市文化振興財団が行う文化芸術事業(ホール公演等)の入場者数		人	目標値	28,000	28,000	28,000	2,600
			実績値	17,959	22,900	8,764		
達成率			64%	82%	31%			
評価			少し悪い	普通	悪い			
算出方法・設定根拠など		堺市文化振興財団が主催する事業の入場者数(新型コロナウイルス感染症防止対策により、会場の入場制限やホール公演の動画配信への変更等を考慮し、令和2年度の目標値を修正)						
活動実績と成果	16		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			件	目標値				
			実績値					
			達成率					
評価								

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	(公財)堺市文化振興財団が行う文化芸術事業(ホール公演等)の入場者数	人	17,959	22,900	8,764
	②	上記①にかかる年間経費	千円	171,458	154,161	134,333
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	9,547	6,732	15,328
備考(算出についての説明等)						
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
備考(算出についての説明等)						

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		<p>入場者数の大幅な減少については、事業数の減少(18本⇒12本)や新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う事業の中止、収容人数の少ない会場での開催の増加が主な原因である。国や他自治体の大きな流れとして、文化芸術の力を活用して、社会的課題の解決に資するような事業展開にシフトしつつあり、社会包摂型アウトリーチなど、公益性の高いものの、参加者数が限定される事業を開始したことも、入場者数の減少につながった。今年度は、「自由都市堺文化芸術推進計画」の改定時期であり、事業内容や評価指標についても見直ししていく予定である。</p> <p>令和2年度の入場者数の目標値については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ホール公演事業やアウトリーチ事業の中止や、ホール公演を開催できたとしても座席数を大幅に減らしての実施が想定されるため、例年より大幅に減少した設定としている。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	堺市文化振興財団事業補助	シート番号	008-035
-------	--------------	-------	---------

≪V. 点検≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 堺市文化振興財団は市民の文化生活の向上と地域の発展に寄与するための事業を行う推進母体であり、コロナ禍で人々の心が疲弊している今こそ、文化的な権利を保障することには公益性がある。今年度は、新型コロナウイルスの影響によりホール公演が制限されるため、誰もが気軽に文化芸術に触れる機会を提供できるよう公演の動画配信を積極的に実施する予定である。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 新型コロナウイルスの影響で、民間プロモーターでは公演の実施が難しい状況であるため、本事業休止により、文化芸術に触れる機会が大幅に減少することになり、市民生活への影響が大きい。 休止の場合の再開時期 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3本のホール公演を中止にせざるを得なかったが、その代替事業として、公演の動画配信を実施する予定である。当該事業については、コロナ禍の代替措置として、文化に触れる機会を幅広く提供することができるため、非常に公益性が高い事業である。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 ホール公演の際に3密にならないように座席数を減らしたり、参加者及びホール従業員の手指消毒を徹底するなど、ガイドラインを遵守するとともに、自宅で楽しめるコンテンツを開発するなど、実施手法を改善している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は<input checked="" type="checkbox"/>、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は<input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 各種文化団体との共催事業や、民間事業者に委託して事業を実施することにより、財団自身も外部団体のノウハウを吸収し、今後の事業実施に生かす。特に令和元年度から実施している「社会包摂型アウトリーチ事業」については、社会包摂型事業の充実が求められている中、文化団体等と協働して新たなプログラムを開発するなど改善を図っている。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
	所見	令和2年度は、「自由都市堺文化芸術推進計画」の改定時期であり、堺市文化芸術審議会からの指摘等を踏まえながら、今までの実績の分析を基に事業実施手法の改善を図る。		